

**新型コロナウイルス対策  
ガイドライン**

**《旅行会社様向け》**

**令和 2 年 6 月 22 日**

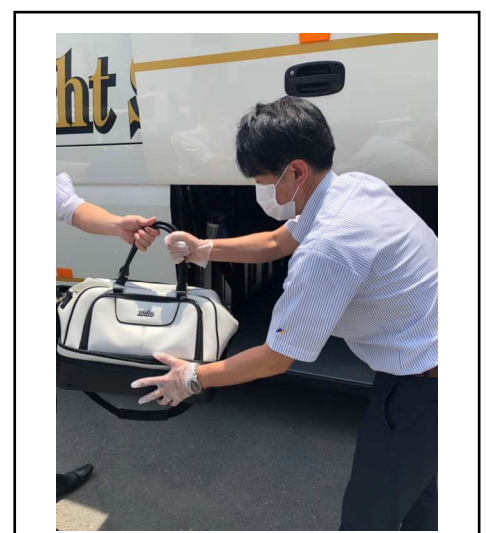
**(株)和光観光バス**

## 《ガイドライン指針》

本ガイドラインは、新型コロナウイルスの対策について定めたものであり、お客様へ輸送サービスを提供する上で、感染リスクを最小限に抑え安心してご乗車いただくために社全体として遵守するものです。

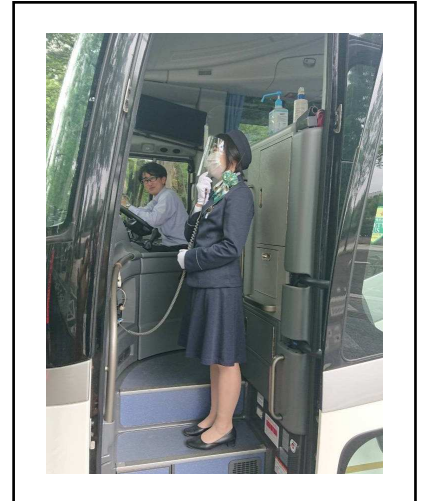
### 乗務員対策

- (1) 手洗い、うがいの徹底。
- (2) 運行中は常時マスク着用。
- (3) 点呼時に体温測定を実施、平熱より大幅に上昇している場合は、出庫を中止、代替乗務員による運行を実施する。
- (4) トランクへお荷物を積み込む場合は、ビニール手袋を着用する。



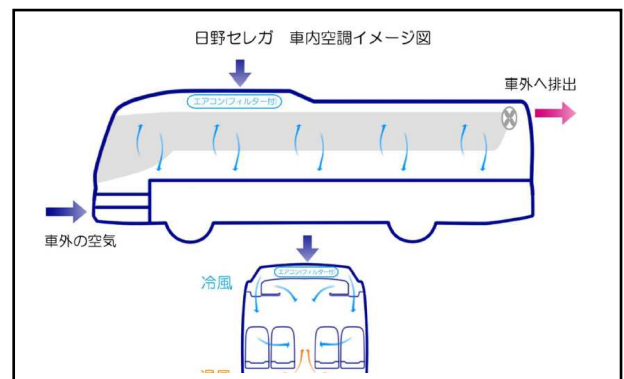
(5) ガイドが乗車する際は、前向きにてご案内する。

※感染防止のため、フェイスシールド、マスク着用にてご案内。



## 車内対策

- (1) 車内にお客様用の手指アルコール消毒液を設置。
- (2) 車内の空気を常時換気するために、「**外気導入運転**」を固定でセットする。



※「外気導入モード時では車両の前方と、屋根上のエアコンから新鮮な空気を取り入れることにより、おおむね5分で、車内の空気を入れ替えることができます。」

参考:日野自動車株式会社 大型観光バス「日野セレガ」車内空調について

<https://www.hino.co.jp/corp/news/2020/20200417-002601.html>

- (3) お客様がバスから長時間離れているときは、できる限り窓を開けて換気を実施。
- (4) 運転席と客席との間にアクリル仕切り板を設置。



## (5) 客席間に仕切りカーテンを 設置。

※医療用の抗菌・防災素材を使用し、運行終了後には毎回アルコール消毒を実施します。



## (6) 上記ウイルス対策を車内モニターにてご案内。

### 運行終了後の消毒

(1) アルコールを高圧で噴霧することでシートを含めて車内全体を除菌。



(2) 除菌後は「清掃チェック表」を各車両に設置し、消毒が完了したことをお知らせする。

(3) 運行終了後はオゾン発生装置にて除菌・消臭。



奈良県立医科大学の実験で、密閉された容器の中で新型コロナウイルスに規定の濃度のオゾンガスを約1時間噴霧した結果、感染力をもったウイルスが最大で1万分の1にまで減少することが確認されました。

<http://www.named-u.ac.jp/university/kenkyu-sangakukan/oshirase/r2nendo/ozon.html>

当社はオゾン発生量 5000mg/hの装置を使用し、運行終了後に20分間噴霧します。

オゾン濃度(38.9ppm) = オゾン発生量(5000 mg/h) ÷ 空間容積(大型バス 60 m<sup>3</sup>) ÷ 2.14

オゾン効果 CT 値(778) = オゾン濃度(38.9ppm) × 運転時間(20min)

※新型コロナウイルスは CT 値 = 330 で不活化しますが理論値のため2倍以上で設定。

## お客様へのお願い

(1) 乗車する際にアルコール消毒液を一人1回、手指へ噴霧してください。

(2) 乗車時の検温を徹底します。

(3) ご乗車にあたってはマスクの着用をお願いします。着用していない場合はお声掛けすることがあります。

(4) 運行中に体調不良を感じた場合は直ぐに乗務員へお知らせください。

